



撮影者 撮影日 撮影場所



噴水のある風景
◎法代地 昭年さん ◎平成26年5月
◎宮浦公園(宮浦二丁目)



春爛漫
◎三浦宣行さん ◎平成26年4月
◎鷺浦町向田野浦



水芭蕉と・・・
◎東山由紀さん ◎平成26年5月
◎大和町蔵宗



カープ元氣!
◎大貫祝子さん ◎平成26年4月
◎沼田東町片島

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 5日(木)(必着)
応募資格 市内に在住か通勤・在学の学生
募集枚数 1人1枚
選考 秘書広報課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真は返却しません。
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。
申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を秘書広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 hishokoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲昨年8月にはタコつぼ漁も体験しました

今年3月、東京のラジオで三原のタコの歌が紹介されたのを知っていますか。「I♥タコ」「たこさんおいしいな」「ぼくらの街三原」「三原の漁師唄」。歌を作ったのは、昨年度、授業でタコについて学習した三原小学校の子どもたちです。

学習を通じて三原のタコを発信へ



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。



水産教室でタコについて学ぶ三原小学校の子どもたち

市と漁協は現在、地元産タコのブランド化に力を入れていきます。漁協が販売するタコの容器には、児童がデザインしたタコのシールも貼られています。「三原のタコがパワーアップしていることを知ってほしい!」と、学習で深めた理解、そこで芽生えた郷土の誇りが、純粋な発信力につながっています。

同校では毎年、5年生が三原市漁業協同組合の協力でタコの生態や漁について学んでいます。漁船に乗り込み、伝統のタコつぼ漁も体験します。「タコつぼがすごく重かった」「吸盤がくっ付いて痛かった」など、漁の大変さを実感する貴重な経験です。昨年12月にはお世話になったお礼にと、組合員を招いて自作の歌やタコ料理でもてなしました。「漁は朝も早く苦労がいっぱい。タコが食べられるのも漁師さんのおかげ」と感謝の気持ちを込めました。